

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元 年 5 月 24 日

仕事の内容	福祉電話貸与・電話料助成事業			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉係	係 課長名 小川 則之

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 3	-
【施策名】 障害者福祉の推進	総合計画書 (ページ)	55	

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉	目 4	障害者福祉費	事業 7	地域生活支援事業
-----	-----	-----	-----	------	-----	--------	------	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・18歳以上の聴覚障害者又は身体障害者手帳2級以上の外出困難な者のみで構成される世帯(前年の所得税が非課税の世帯)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内の重度身体障害者(1・2級)及び聴覚障害者数人
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・身体障害者のコミュニケーションを確保するとともに、緊急時の連絡手段を確保する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 年間利用件数/市内の心身障害者数
	③ そのために何をしましたか。 ・聴覚障害者又は外出困難な重度障害者に対し、電話機の貸与及び電話料の助成を行う。 ①貸与事業：電話加入権付きの電話機の貸与 ②助成事業：基本料金及びダイヤル通話料300円まで助成	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間利用件数 貸与 7人 電話料助成 10人

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	1,605	1,569	1,562	/
	成果指標	②の数値	%	1.0	1.0	1.1	/
	目 標	②の目標値		/	/		/
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	人	12	12	17	/

3 経費	事業費(実績)		円	146,633	146,744	160,556	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	146,633	146,744	160,556	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	413,350	412,650	412,200	
	職員人件費(再任用)	円					
事業費+人件費		円	559,983	559,394	572,756		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	・昭和61年4月事業開始。重度障害者等のコミュニケーション手段及び緊急時の連絡手段の確保を目的に開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	・利用者は死亡、転出等により減少傾向にある。

